

会 議 要 旨

会議の名称	令和5年度第1回川越市社会福祉審議会地域福祉専門分科会
開催日時	令和5年10月5日（木）14時から15時30分まで
開催場所	川越市総合福祉センター 3階 社会適応訓練室
出席者（委員） 氏名（人数）	中野委員、須藤委員、牛窪委員、田中委員、荻野委員、廣川委員、吉田委員、佐藤陽委員、野村委員、岡庭委員、佐藤保雄委員、田村委員、村上委員、柴田委員、有井委員（15名）
欠席者（委員） 氏名（人数）	藤崎委員、小林委員、諸橋委員（3名）
事務局職員 職氏名	市：福祉部副部長兼福祉推進課長、福祉推進課職員 社協：事務局長、地域福祉課長、地域福祉課職員
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会長、副会長選出 3 議題 「みんなでつくる福祉のまち川越プラン」の進行管理について 4 その他 5 閉会
配布資料	<p>資料1 令和4年度みんなでつくる福祉のまち川越プラン 総括シート</p> <p>資料2 令和4年度みんなでつくる福祉のまち川越プラン 取組別評価シート</p> <p>資料3 令和4年度みんなでつくる福祉のまち川越プラン 地域の取組項目ごとの実施状況</p> <p>資料4 令和4年度地区別福祉プラン 評価シート</p>

議 事 の 経 過

事務局

1 開会

- 過半数の委員出席による会議の成立の報告
- 会議資料の確認
- 地域福祉活動推進委員会委員の委嘱書の交付（社協）
- 報告事項（委員の変更）

2 会長、副会長選出

- 佐藤会長挨拶

会長

●本市に在住している市民でもあり、本市の政策に向けて少しでも力になればという思いである。今回初めての方もおられるので簡単に自己紹介をすると、私は地域福祉を専門としており、社会福祉協議会、行政経験を踏まえ、大学院で地域福祉の専門研究をして、実践と研究を兼ね合わせて、現在大学に勤務している。

都道府県の地域福祉計画では、宮崎県都城市や山形県鶴岡市にかかわっている。どちらも重層の先進県であるが、都城市はもう13年ほど関わって推進してきた。埼玉県が2000年社会福祉法の改正に伴って地域福祉計画が法制化されたところから、県の審議会と地域福祉推進会にかかわらせていただき、実務の運営の部分で座長をやり、その後、委員会の委員長など歴任し、県内の地域福祉計画の策定並びに運営を推進していくCSWの育成において県社協等で10年近く研修をしてきた。いろいろな調査研究をして、生活支援体制整備事業が始まったときにそこで丁寧な働きを実践している方は、このCSW研修を終えた方が多かったということが確認でき、県内でそういった推進をされ、また本市においては、そこでのノウハウを生かしながら、市や社協、地域においては22の地区社協で地域福祉を推進され、市では地域福祉サポートシステムということで、ある意味、今日の重層的支援体制の先取りをされ、運用されてきた、そういう意味では委員の皆様方のお力とともに本市の地域福祉が推進されてきたと認識している。

私がいる大学がある新座市も先日、川越市に視察に訪れ、重層に着手する準備を始めたところである。

引き続きこうした運営と推進にご理解とご協力をいただいで進めていただければと思っている。宜しく願いしたい。

事務局

それでは、川越市社会福祉審議会規定第3条第4項の規定に基づき、会長に会議の議長をお願いしたい。

<p>議長</p> <p>事務局 社協</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p>	<p>これより議事に入る。傍聴希望者は。(傍聴希望⇒あり) 本市社会福祉審議会規定第8条の規定に基づき、公開ということになるので、傍聴者の方の入室を許可する。</p> <p>3 議事</p> <p>「みんなでつくる福祉のまち川越プラン」の進行管理について ○資料1・2・3・4に基づき、事務局より説明。(資料1・2は市福祉推進課から、資料3・4は社会福祉協議会から説明)</p> <p>(質疑、意見等)</p> <p>○市の地域福祉計画と社協の地区別計画の取組がうまくつながって重層的支援が成果を上げたような好事例があれば、教えていただきたい。</p> <p>⇒(福祉推進課)当市の多機関協働事業は川越駅西口にある福祉総合相談窓口の包括的支援が代表的な拠点であり、当課ではその各相談窓口の職員を包括的支援推進員に任命して、「重層的支援会議」を開催している。例えば8050問題のように、介護の問題を抱えているが実は家には引きこもりもいるというような、問題が複雑化・複合化したケースに対して、関係する支援機関が集まって、支援の方針やそれぞれの支援機関の役割分担を検討したりしている。通常は、介護でも障害でも、同分野の人が集まってケース会議をやっているが、この重層的支援会議では他分野の人でも会議に参加して、違う視点からの意見を聞くことができるのが非常に有意義であるという声を聞いている。この辺りは、重層的支援に取り組んで、如実に出てきているところだと思われる。</p> <p>(社協)重層的支援に、CSWとしては参加支援事業とアウトリーチ事業を行っている。アウトリーチでは、各地区の地区社協の会議や民生委員の各地区の定例会に参加して、民生委員からそれぞれの地区の課題等をお聞きして支援しているところ。それに対して複雑化・複合化した問題を抱える方への支援については、その会議等で情報や意見をいただきながら参加支援事業等の活動に反映できたかなと感じている。</p> <p>○今の質問に付随するが、重層ではどんな内容のケース事例を扱ったか、それはどの機関からの提案だったかを聞きたい。介護保険事業計画の中でも福祉的な仕組みづくりのことが出てく</p>
--	--

事務局	<p>る。地域福祉計画は上位計画であるが、関連性がどれくらいあるのか。福祉推進課や社協ではどれくらいの頻度で、地域包括ケア推進課や介護保険課と連携しているのかを聞きたい。</p> <p>⇒(福祉推進課)多機関協働にはそれほど上がってきていない。昨年のこの場では、前年度の多機関協働は3件あったと報告したが、令和4年度については1件にとどまっている。このケースは社協と子育て世代包括支援センターがほぼ同時に取り扱っている事例で、こどもは施設に入所しており、本人は障害を持っているシングルマザーの支援の事案。地域に受け入れられない、本人のやりたいことが引き出せない中、多機関協働の中で様々な地域資源に繋げていった。半年の支援期間が終了してからも、社協のCSWには見守りを続けてもらい、その後、就職したりもして、引き続き支援は続いている。今回の評価には入っていないが、今年度はすでに2件上がっており、こどもが障害を持っているなどの事例を扱っている。</p> <p>他計画や他課との連携については、介護と障害と地域福祉の計画の始まりがそろそろタイミングで、介護と障害の計画が3年であることから、今までは5年だった地域福祉計画を6年にしようという動きがあって現在に至る。令和2年度の見直しのタイミングでは担当者レベルで頻繁に話し合いの場を設けて、計画策定後は、各計画において進捗管理をしたり、各担当者にて集まって計画の進捗を共有する場を年に数回設けたりして、情報共有や認識合わせを行っている。</p> <p>(社協)社協では、地域包括ケア推進課と毎月一回定例会を開いて、各地区の動きやケースについての情報共有を行っている。令和5年度からは、福祉推進課とは個別ケースについても情報交換を行っている。</p>
議長	<p>○福祉推進課で重層関係として把握している事例と、相談窓口で把握しているケースの件数はまた違うということか。</p>
事務局	<p>⇒おっしゃる通りで、各支援機関において扱う相談件数がそれぞれあるが、重層的支援体制として取り扱う件数は少数。そこに至るまでに、西口や社協が自分たちで支援機関等に繋いで早期支援に結びついているので、多機関協働で取り扱うに至るケースはなかなかない。</p>
議長	<p>委員さんの心配はその部分ではないか。課ごとでは見えなくな</p>

委員	<p>っている部分を、部としてどう掌握するかというところ。</p> <p>さらにいうと、もう少し身近に感じる窓口であってほしい。そうでないと、なんとなく置き去りにされているような気持ちになるのと、困難事例だからこそ潜在化、隠してしまわないかという懸念。地域の身近なレベルで相談が入って、実は困難案件だとわかって他の機関にも繋げていって、解決策を模索するというような流れは大事だと思う。例えばその制度の周知の在り方、あとはケース事例を蓄積して検討会や勉強会にフィードバックして、関係者のレベルアップに使ったりして循環させることも大事だと思う。</p>
事務局	<p>⇒月一回、西口の4センターと社協と福祉推進課で会議を開き、報告の機会を設けている。その時に持ち回りで事例検討会を行っている。</p>
議長	<p>事態が深刻になる前に相談できるような、身近な窓口である必要性もあり、また、課を越えて全体の相談件数を把握できるようにすることも課題か。重層のフォローで必要になる数字と、全体を把握するための数字と両方必要。実務を進めていく中で、整理の仕方を検討する必要がある。</p>
委員	<p>○コロナ禍が終わって、各地区で活動が立ち上がってきたと思う。立ち上がり方が難しいと思うが、考え方は。自治会が組織されていない地区はどう活動しているか。</p>
事務局	<p>⇒（社協）コロナ禍からの立ち上がり方だが、地区によってさまざま、自治会長が慎重な地区では依然として事業が進んでいない。地区ごとに考え方もあるので強引に進めることはできないが、社協としては、他の地区の活動を例示したりして、活動の再開を促している。</p> <p>自治会の無い地域についてだが、社協のサービス提供にあたっては、自治会の加入の有無にはこだわらない。</p> <p>（福祉推進課）行政側でも、自治会への加入の有無で区別することはない。協働事業で手挙げする団体やNPO法人などの活動なども、活動の周知に自治会を通すことはなく、ホームページ等を使っている。</p>
委員	<p>川越市全体として、統一された形での地域福祉が必要。地区の特</p>

	<p>性もあるが、すべての市民の方が同じレベルでサービスを楽しむことができると良い。</p>
委員	<p>○私の地域では、管理組合があるからということで自治会に加入していないマンションがあり、そこは市のサービスも受けていないし民生委員も出していない。その地区で民生委員が必要な時は、他の地区の民生委員に頼んでいる。</p>
議長	<p>⇒東京都内など他の地域でもそういうところがあるが、住民層が多様化して難しくなっている現状の中で、どのように進めるか課題もある。</p>
委員	<p>○高齢化が進んできて、障害者団体でも懸念事項が出てきた。催し物があっても、その会場に行くための手段の確保が厳しく、参加が難しくなっている。</p>
議長	<p>⇒各論的になってくると、障害者計画などにもかかわる部分になってくるが、こういう問題提起もあったということが担当部署に伝わると良い。</p>
委員	<p>○資料 2 の福祉教育について。以前、中学生が夏休みを利用して特養にボランティア活動を希望する連絡があった。受入れ側はウエルカムで、母親も初日は付き添うなど協力的だったが、学校の担当教員が「そんなことやる必要ない。そんな時間があるなら勉強しなさい」と、強い言葉で否定する発言をしたためにボランティア活動がそこでストップしてしまったことがある。</p> <p>子供たちに福祉に対する教育を施していくことが謳われているが、担当教員だけでなく学校全体に意識を持ってもらうことが重要ではないか。子どものころの社会貢献活動の体験は大事なことで、決して無駄にはならない。教育委員会との連携もそうだが、校長先生のリーダーシップにももう少し上手に訴えかけてマネジメントしてほしい。</p>
議長	<p>社協の方では学校での福祉教育・ボランティア学習を推進するところで公聴会や、指導主事に依頼や研修などやっているか。</p>
事務局	<p>⇒（社協）小中学校に対して福祉教育的な授業で訪問はしているところであるが、先生によって考え方が違う方もいるようなので、全体的に学校だけでなく市内全学校に、社会貢献の意義を</p>

事務局	<p>説明していけたら。現状、教育委員会と連携が取れていない部分もあるので、まずは連携を進めていきたい。</p> <p>(福祉推進課) 今回のご指摘を踏まえて、課題として受け止めて着実に取り組むように、心して進めていく。</p> <p>⇒ (社協) 学校との関係だが、社会貢献に興味を持っている生徒が最近増えているように感じている。先生によっては、生徒に社会福祉教育を施したいと社協に相談があったり、ボランティアへの参加の申し出を受けたりしている。年に数回ではあるが学校の授業の実習で取り入れるというような事例もある。また、社協でのイベントで、赤い羽根共同募金の街頭募金には、ボランティア活動団体と一緒に高校生や大学からの実習生が参加協力してくれている。今月下旬に開催される社会福祉大会の司会進行を、昨年から川越市内にある通信教育の高校の生徒さんをお願いするようになり、小中学校をはじめ高校も、顔見知りの学校の先生を通じてではあるが、ボランティアに協力してもらうようになってきている。</p>
委員	<p>○ボランティア連絡会は、社協からボランティア推進の依頼を受け、学校関係の活動も引き受けている。地域福祉の推進をしていこうという時期から、社協から連絡が来たものはすべて受けて参加している。コロナのために推進活動がなくなったが、ここでまた連絡をいただいているので、またよろしく願います。</p>
事務局	<p>⇒ (社協) ボランティア団体さんには今後ともお世話になります。引き続きご協力いただきますようお願いいたします。</p>
議長	<p>○そろそろ終了時間になりつつあるが、これは伝えたいということは。</p> <p>よろしければ、今出たご意見を事務局でまとめていただいて、私の方でお伝えしたことも含め、他の課や部に照会いただきたい。</p> <p>では、その他について事務局から。</p>
事務局	<p>4 その他</p> <p>⇒ 今後の分科会について。</p> <p>今年度は分科会をもう一回、年明け1月に予定している。議題</p>

議長	<p>として、来年度が地域福祉計画の中間評価の年にあたるため、それに関する内容をご審議いただきたい。場所は未定だがこの場所でやりたいと考えており、日にちは決まり次第、早い段階でお知らせする。</p> <p>その他、ないようであれば議長の職を解かせていただく。 みなさまのご協力に感謝する。</p> <p>5 閉会</p> <p style="text-align: right;">〔15時30分終了〕</p>
----	--